

「第6回 愛媛県勤労者定期観測調査」報告書 (2014年5月調査)

2014年9月26日

[はじめに]

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では、愛媛県内勤労者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内勤労者を対象にした景況調査を実施しています。

当報告書では、2014年5月に実施しました「第6回調査」の結果を報告します。

調査にご協力いただいた加盟団体・事業所、ご回答していただいた方々に厚くお礼申し上げます。

[調査概要]

調査名称：愛媛県勤労者定期観測調査（愛媛県勤労者短観）

調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する 113 団体・事業所の勤労者

調査項目：勤労者の景況感，仕事の現状，暮らし向き等

調査実施期間：年2回5月・11月，第6回調査2014年5月1日～5月31日

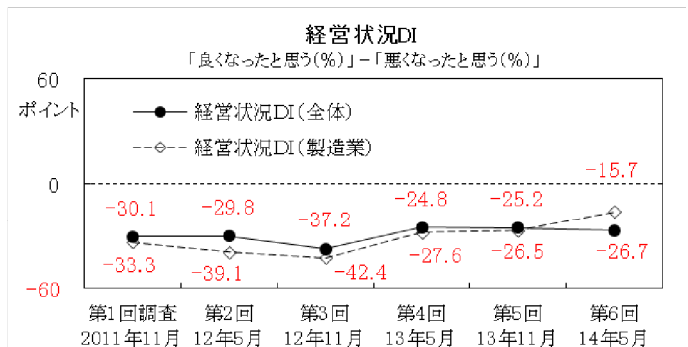
回答数：第6回調査 登録者数：488名，回答者数：380名，有効回答数：380(77.9%)

調査方法：質問票によるアンケート調査(郵送調査法)

[主な調査結果 概要] (定期調査の結果概要です。特別調査の結果は改めて報告します。)

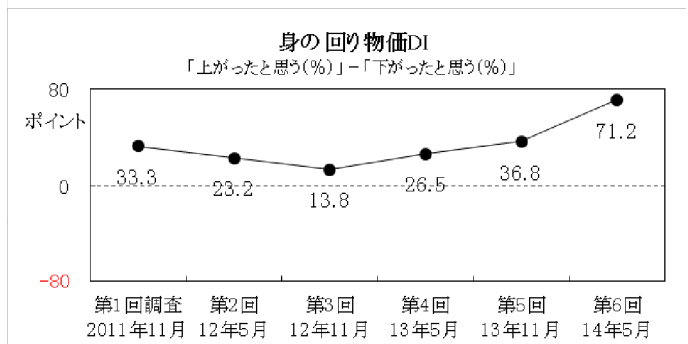
1. 勤め先の経営状況

製造業の経営状況 DI は上向きになったが、全業種の経営状況 DI は横ばいで、勤労者からみた愛媛県内の景況は足踏み状態にある(問1の結果参照)。



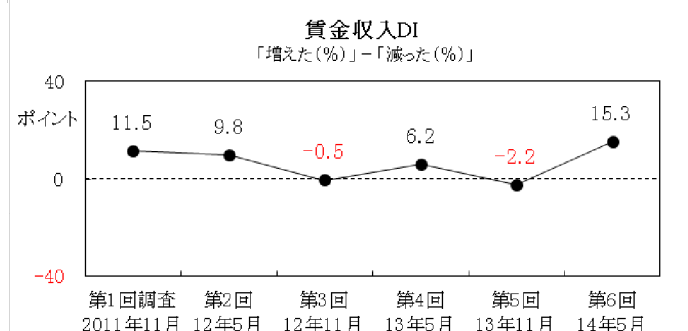
2. 身の回りの物価

身の回り物価 DI は大幅に上昇し(34.4 ポイント)，勤労者の物価上昇感は極めて強い(問2)。



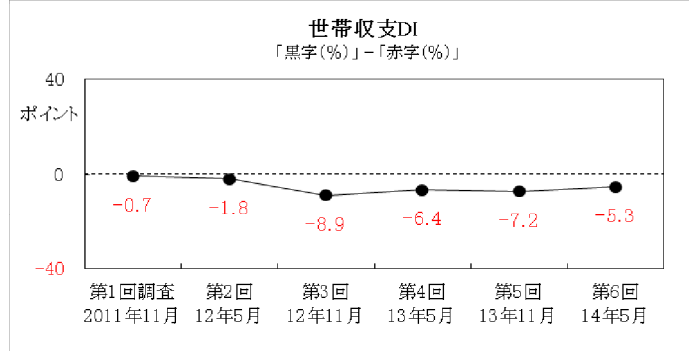
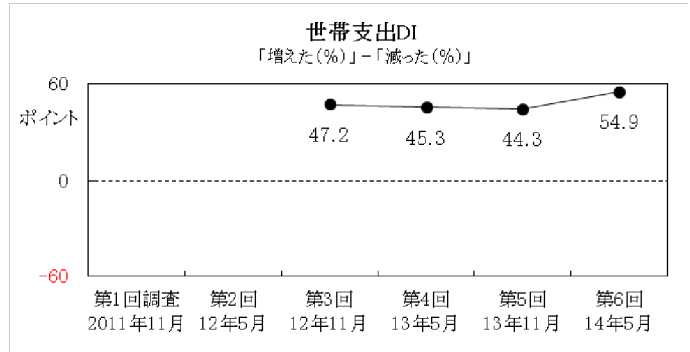
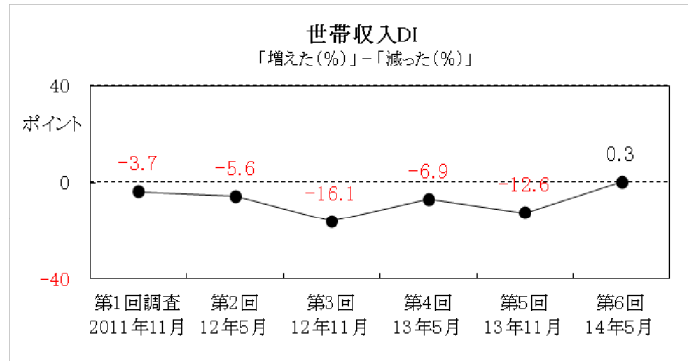
3. 賃金収入

賃上げが広く実施され、賃金収入 DI は大幅に上昇した(17.6 ポイント)(問4,5)。



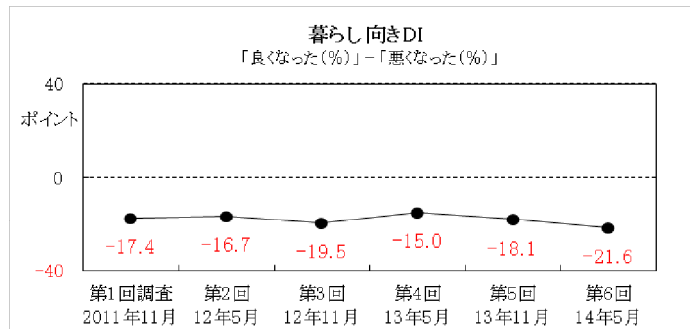
4. 世帯収支

世帯収入が増えた一方で、支出も増えた。消費税率引き上げ分を含む物価上昇により出費が増えている模様(問8, 9, 10)。



5. 暮らし向き・生活の満足感

暮らし向き DI, 生活満足 DI 共に下落傾向が続いている(問11, 12)。

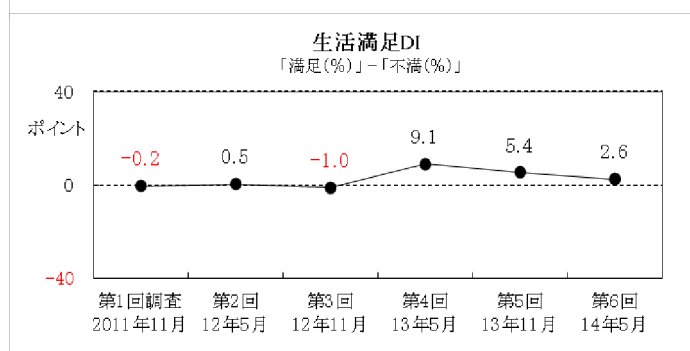


6. 総括(2014年5月時点)

県内勤労者からみた愛媛県内の景況は足踏み状態にある。

賃金の引き上げが行われているが、勤労者の物価上昇感は極めて強く、支出も増えている。

暮らし向きへの評価や生活の満足感は、僅かずつではあるが低下してきている。



(結果概要は以上です。)

第6回 愛媛県勤労者短観調査 回答者属性

アンケート有効回答数	380
------------	-----

性別	人	%
男性	266	70.0
女性	114	30.0
回答者計	380	100.0

年齢構成	人	%
20歳代	61	16.1
30歳代	103	27.1
40歳代	122	32.1
50歳代	77	20.3
60歳以上	17	4.5
回答者計	380	100.0

家族構成	人	%
1..あなた(①)	50	13.2
2..あなた/親(①④)	41	10.8
3..あなた/親/その他(兄弟)(①④⑤)	9	2.4
4..あなた/子ども(①③)	14	3.7
5..あなた/子ども/親(①③④)	3	0.8
6..夫婦(①②)	46	12.1
7..夫婦/子ども(①②③)	169	44.6
8..夫婦/親(①②④)	11	2.9
9..夫婦/子ども/親(①②③④)	29	7.7
10..その他(それ以外の組み合わせ)	7	1.8
回答者計	379	100.0

居住地	人	%
東予	163	42.9
中予	166	43.7
南予	50	13.2
その他	1	0.3
回答者計	380	100.0

勤務地	人	%
東予	159	41.8
中予	171	45.0
南予	50	13.2
回答者計	380	100.0

勤続年数	人	%
5年未満	59	15.6
5年以上15年未満	126	33.2
15年以上25年未満	115	30.3
25年以上	79	20.8
回答者計	379	100.0

従業員数	人	%
9人以下	35	9.3
10~49人	42	11.1
50~99人	22	5.8
100~499人	132	34.9
500~999人	58	15.3
1000人以上	89	23.5
回答者計	378	100.0

業種	人	%
民間製造業	153	40.4
民間非製造業	138	36.4
公務員	27	7.1
その他(医療、福祉団体等)	61	16.1
回答者計	379	100.0

就業形態	人	%
正規	331	88.0
非正規	45	12.0
回答者計	376	100.0

労働時間	人	%
20時間未満	11	2.9
20~30時間未満	15	4.0
30~40時間未満	76	20.1
40時間	53	14.0
41~50時間未満	139	36.7
50~60時間未満	62	16.4
60時間以上	23	6.1
回答者計	379	100.0

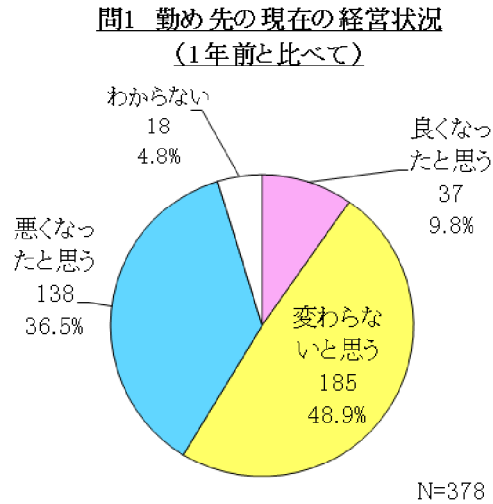
年収	人	%
200万円未満	23	6.2
200万円~400万円未満	130	34.9
400~600万円未満	138	37.1
600~800万円未満	73	19.6
800万円以上	8	2.2
回答者計	372	100.0

勤続年数	
平均(年)	15.7
中央値	15
最頻値	6

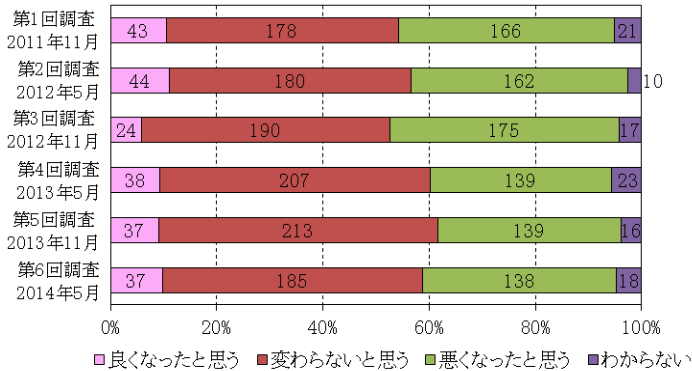
[調査結果]

1. 勤め先の経営状況

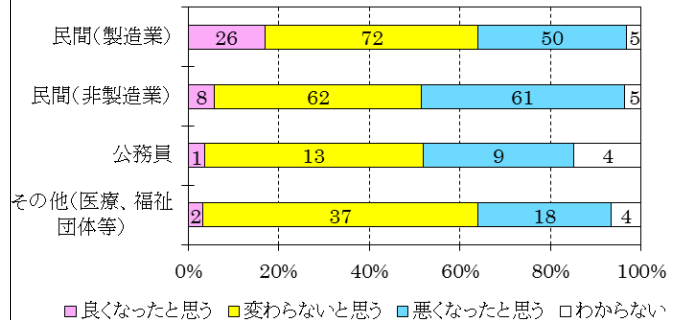
今回の調査でも、過去5回の調査と同様に、勤め先の経営状況が「悪くなったと思う」が「良くなったと思う」を大きく超過した。製造業の経営状況DIは上向きになったが、全業種の経営状況DIは横ばいで、勤労者からみた愛媛県内の景況は足踏み状態にある。



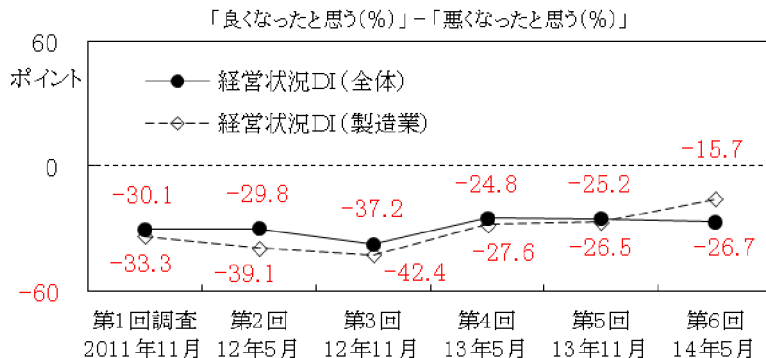
問1 勤め先の現在の経営状況(1年前と比べて)



業種別みた勤め先の経営状況(1年前と比べて)

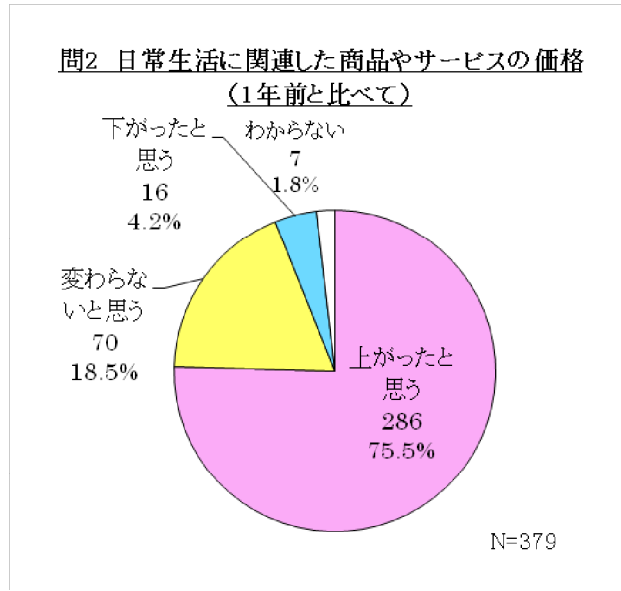


経営状況DI

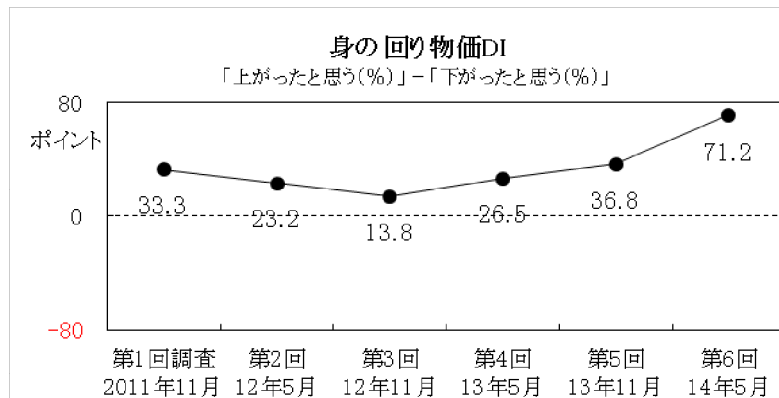
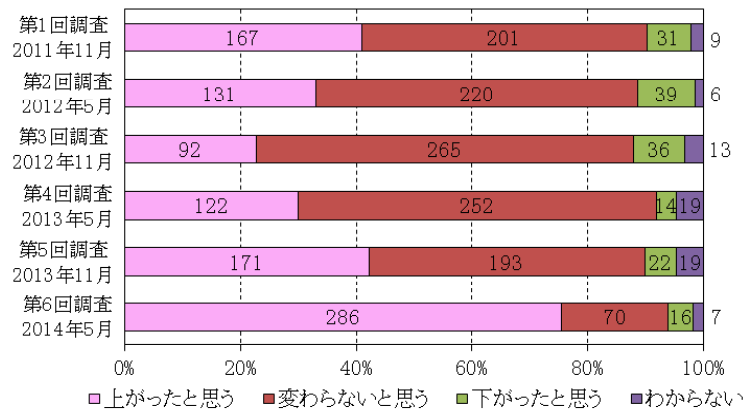


2.身の回りの物価

1年前と比べた身の回りの物価については、「上がったと思う」が大幅に増加し、身の回り物価DIは大幅に上昇した(34.4ポイント)。消費税率の引き上げの影響が大きいと思われるが、勤労者の物価上昇感は極めて強い。

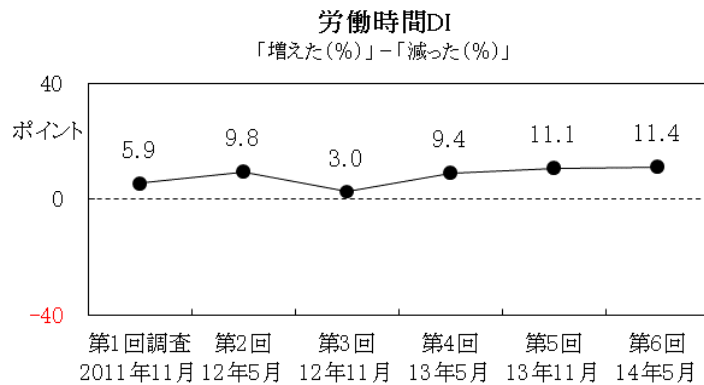
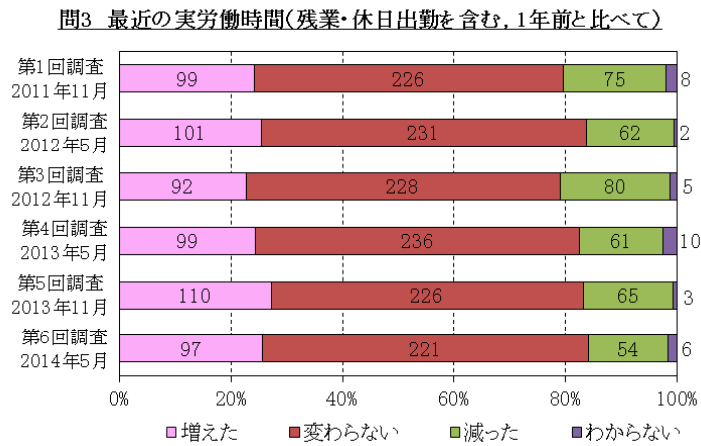
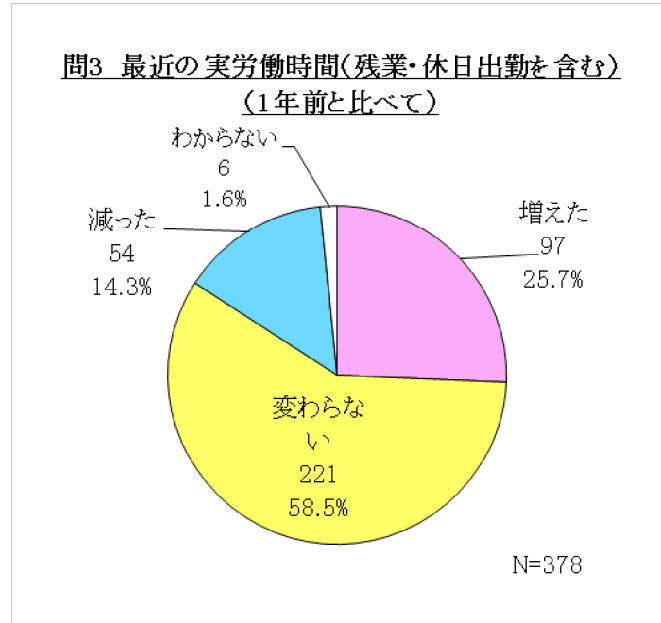


問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格(1年前と比べて)



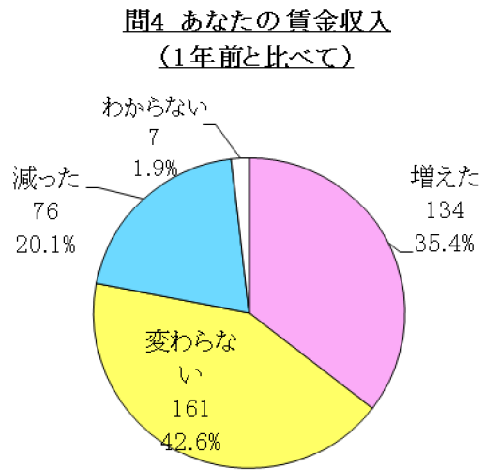
3. 実労働時間

最近の実労働時間については、「変わらない」の割合が僅かに増え、労働時間DIは横ばいになった。

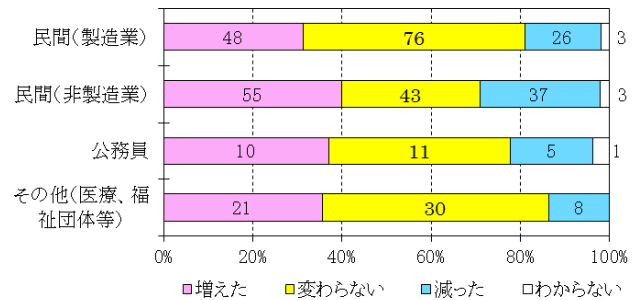


4. 賃金収入

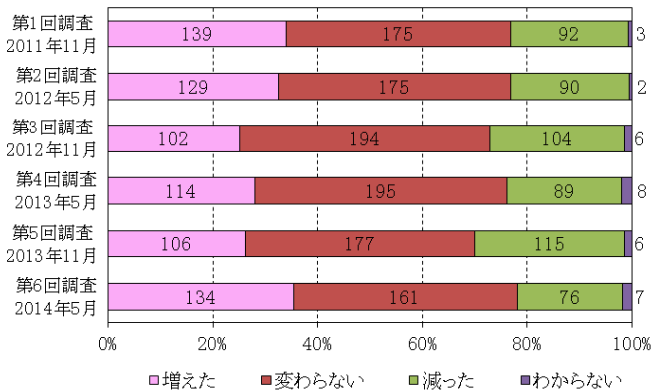
賃金収入が「増えた」が増加し、「減った」が減少した。業種別にみても、同様の傾向がみられた。また、年齢が低い層ほど「増えた」の割合が多く、年齢が高い層ほど「減った」が増加している。賃金収入DIは大幅に上昇した(17.6ポイント)。



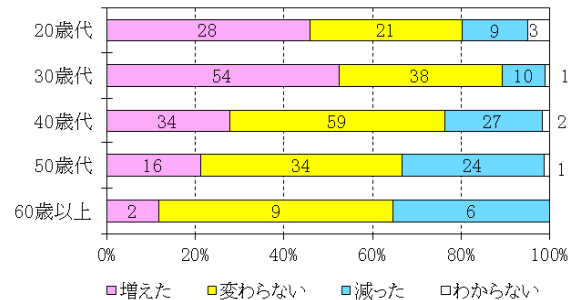
業種別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)

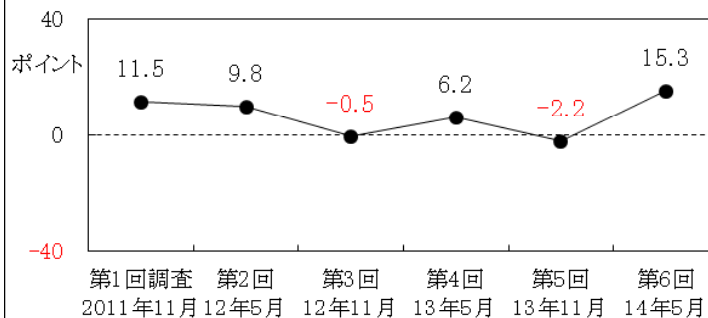


年齢別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



賃金収入DI

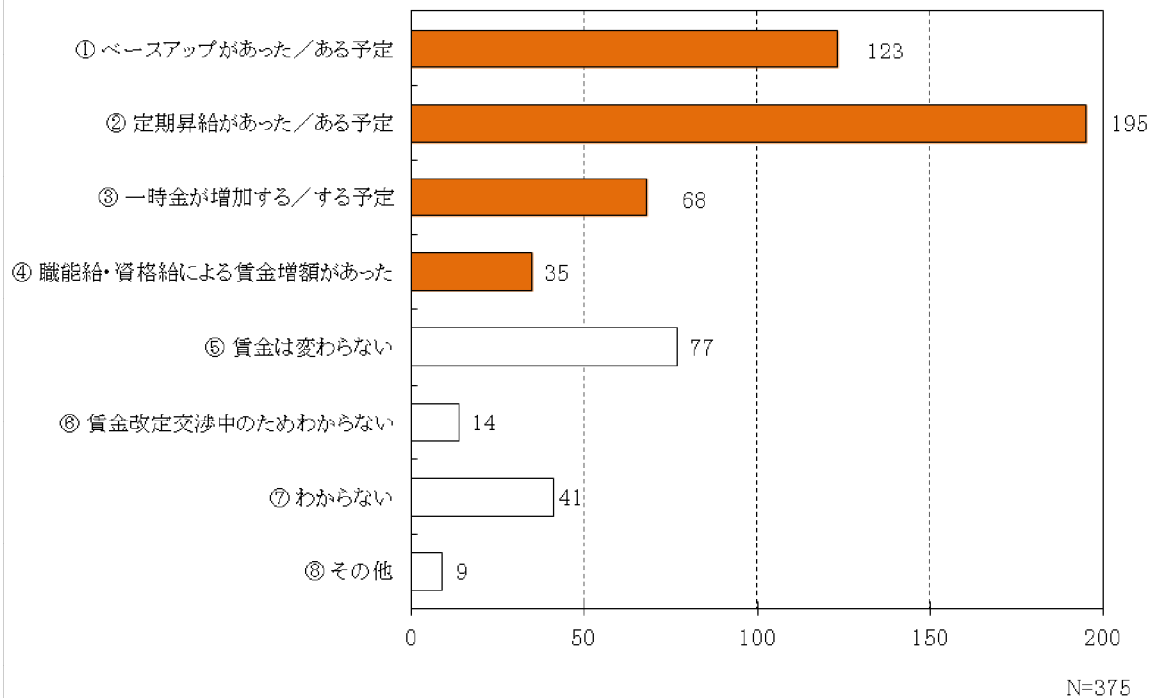
「増えた(%)」-「減った(%)」



5. 賃金引き上げの有無

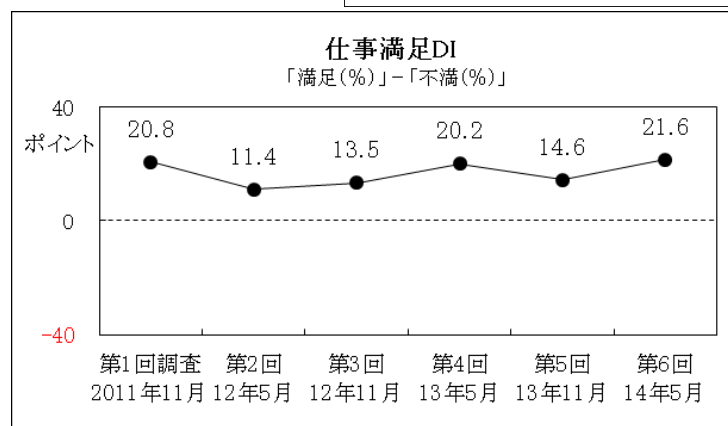
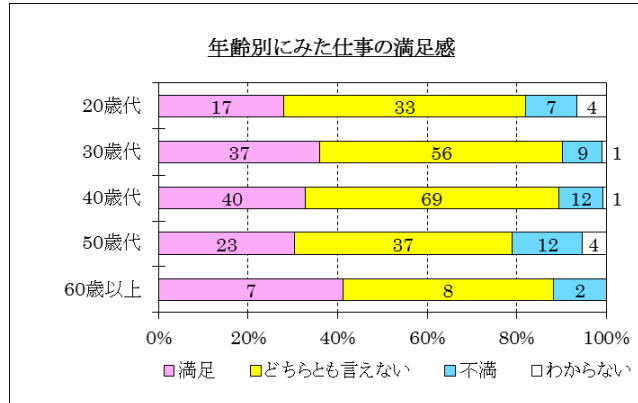
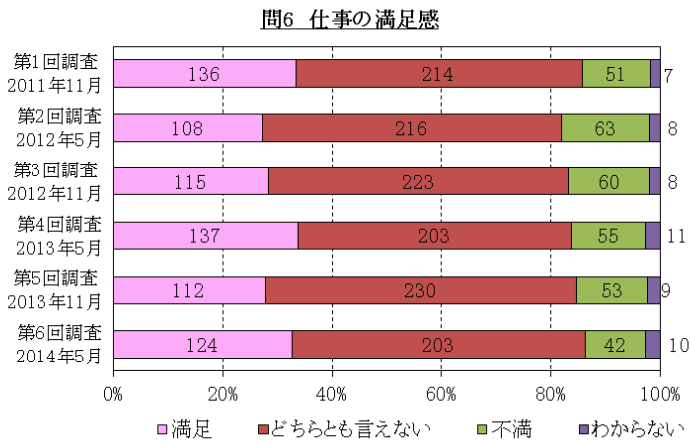
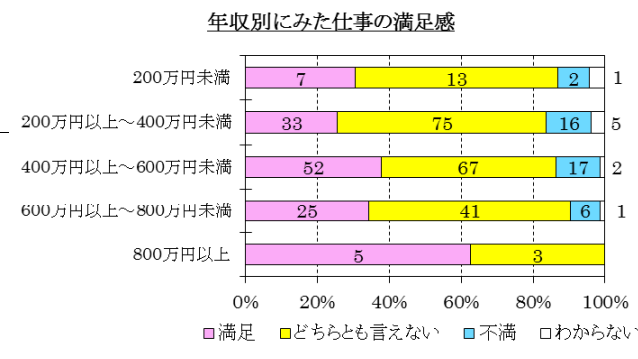
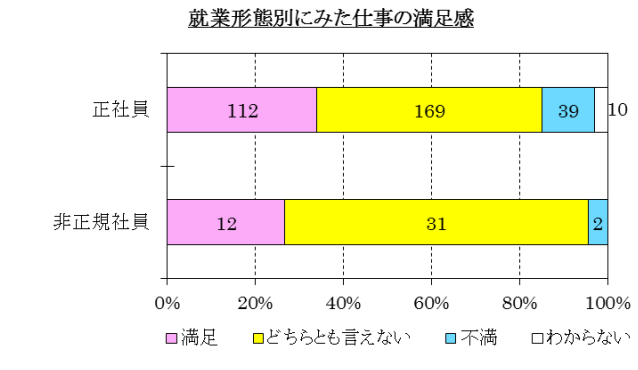
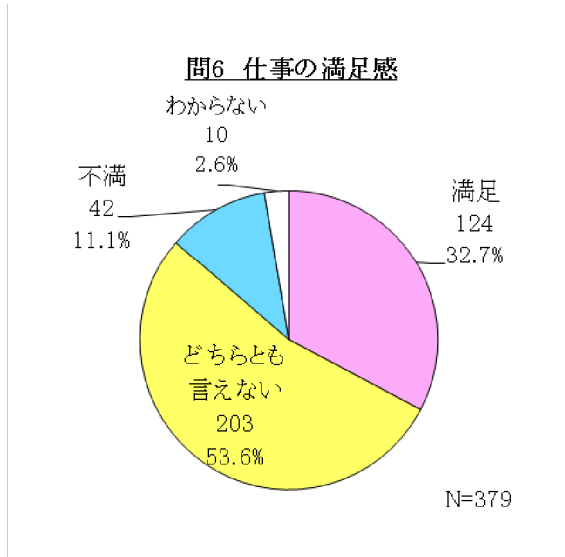
回答者 375 人のうち 251 人(66.9 %)が何らかの形で賃金の引き上げがあった(ある予定)を選択した。内訳は、定期昇給があった(ある予定)が 195 人(52.0 %)で最多で、ベースアップ 123 人(32.8 %), 一時金が増額する(する予定)68 人(18.1 %), 職能給・資格給による賃金増額があった 35 人(9.3 %)であった。

問5 2014年春以降の賃金引き上げの有無もしくは見通し（複数選択）



6. 勤め先の仕事の満足感

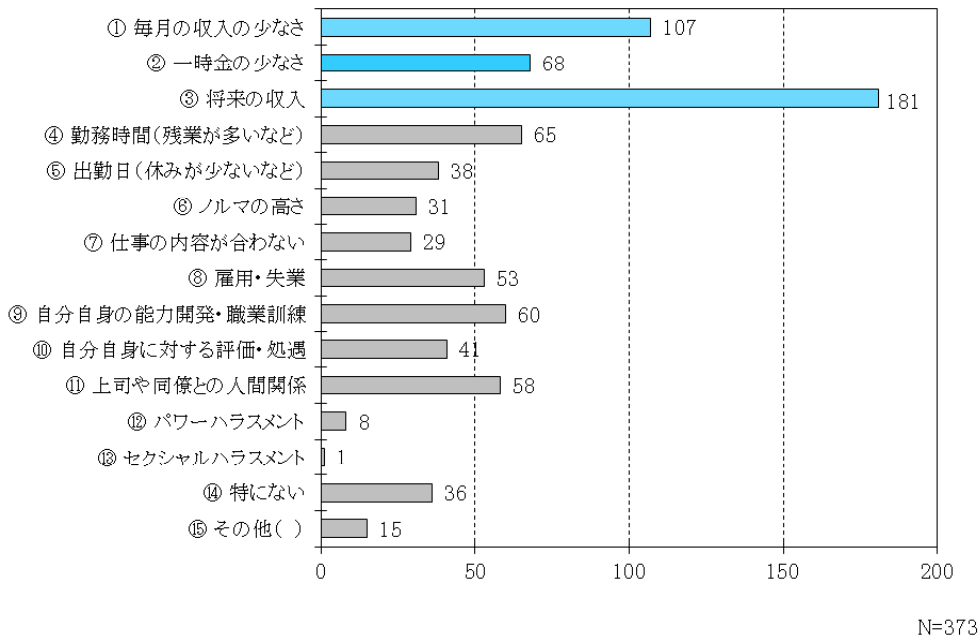
「満足」が増加し、「不満」が減少し、仕事満足DIは上昇した。過去の調査結果と異なり、年収や年齢と「仕事の満足感」にはっきりとした関連性はみられなかった。



7. 仕事での不安・悩み

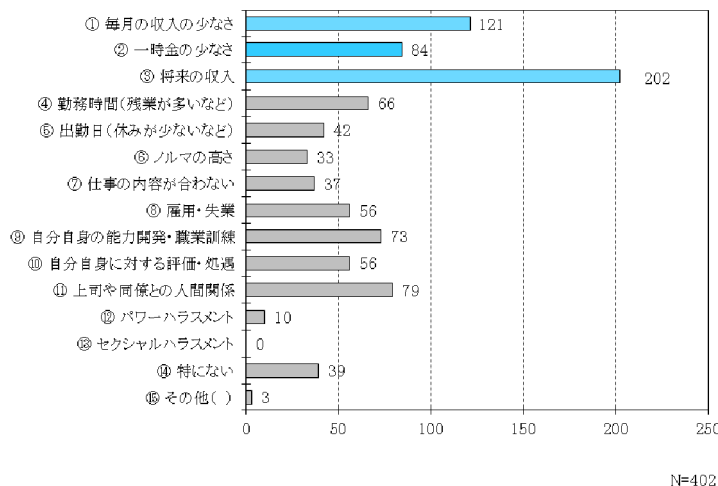
今回も、「将来の収入」への不安が突出し(回答数 181, 48.5%), 「毎月の収入の少なさ」(同 107, 28.7%), 「一時金の少なさ」(同 68, 18.2%)といった金銭面の不安が上位にきた。

問7 仕事に関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



参考 前回第5回調査(2013年11月)

問6 仕事に関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)

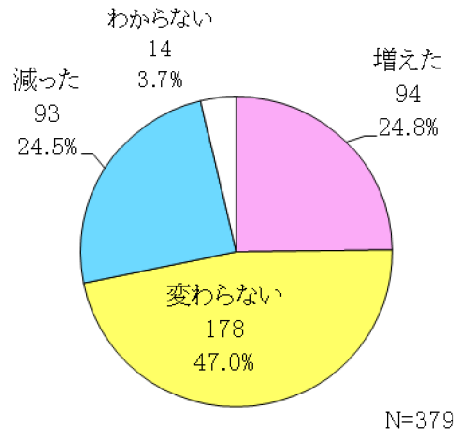


暮らし向きについて

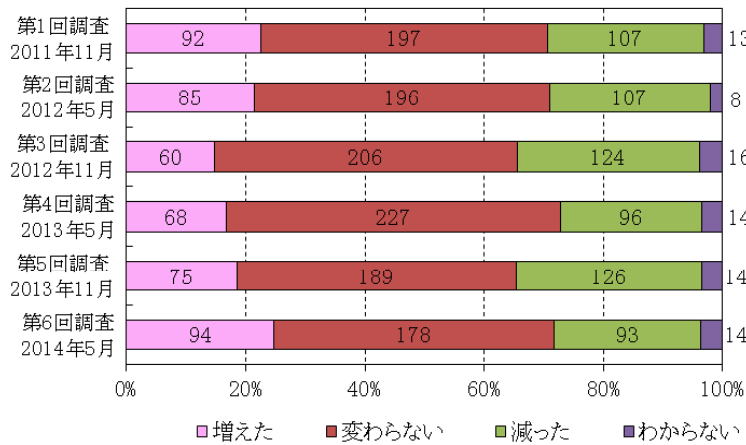
8. 世帯全体の収入

前回調査(2013年11月実施)と比べ、世帯全体の収入は、「増えた」が増加し、「減った」が減少し、世帯収入の改善がみられた。世帯収入DIは上昇した(12.9ポイント)。

問8 世帯全体の収入(1年前と比べて)

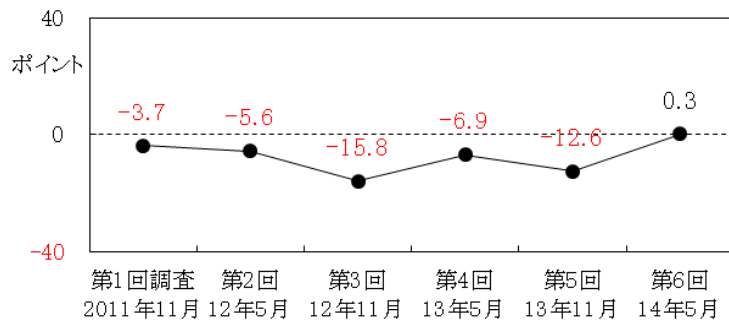


問8 世帯全体の収入(1年前と比べて)



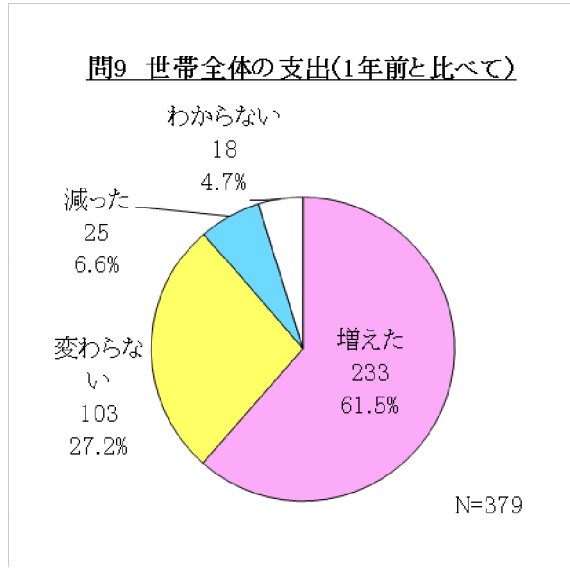
世帯収入DI

「増えた(%)」-「減った(%)」

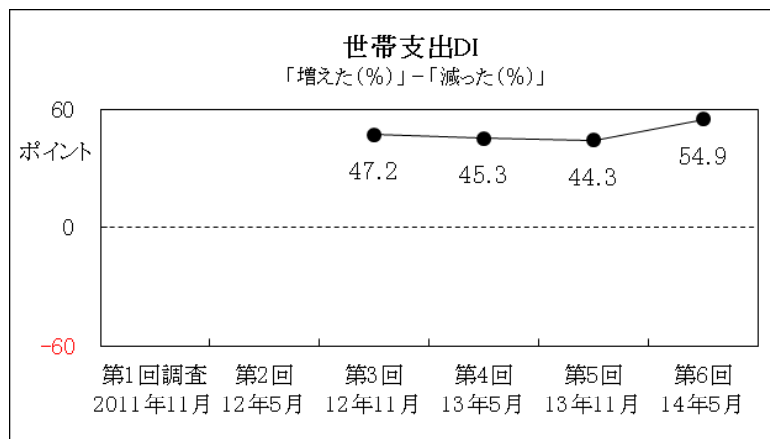
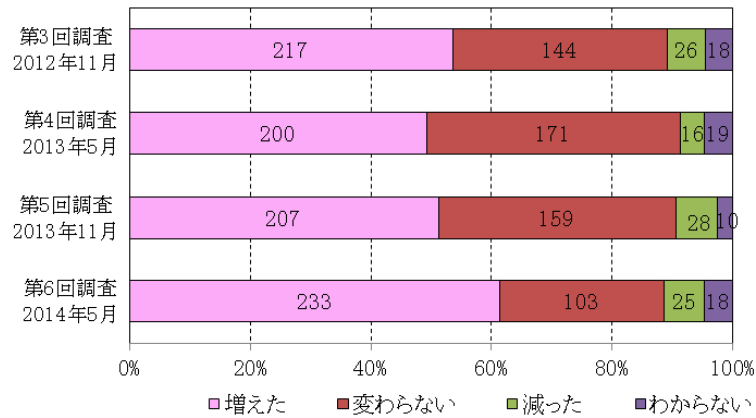


9. 世帯全体の支出

世帯全体の支出については「増えた」の回答が増加し、6割を超えた。世帯支出DIは上昇した(10.6ポイント)。(労働者福祉協議会では、物価上昇による支出増が大きく、物価上昇分を除く実質消費支出は増えていないと判断する。)

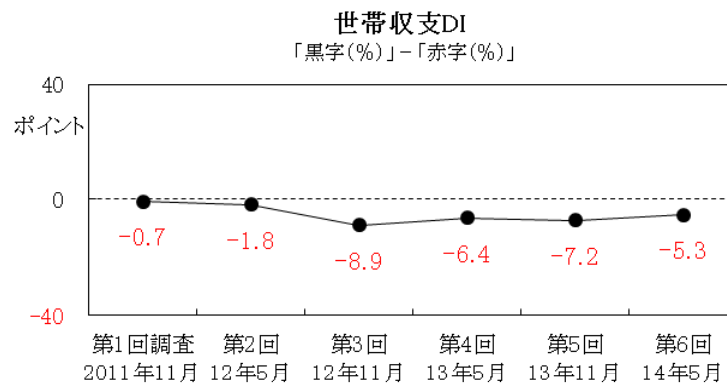
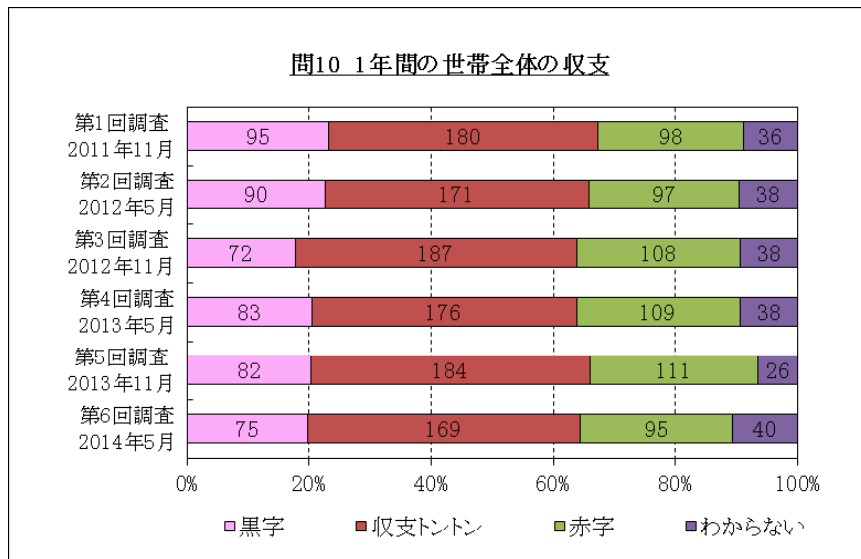
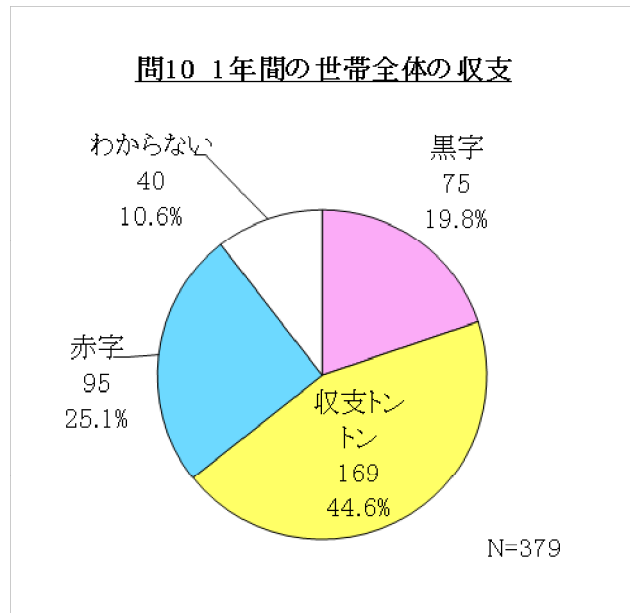


問9 世帯全体の支出(1年前と比べて)



10. 世帯の年間収支

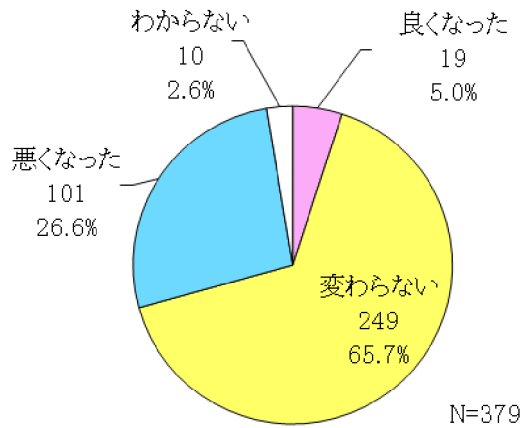
前回調査とほぼ同じ回答内容で、世帯収支DIは横ばい。



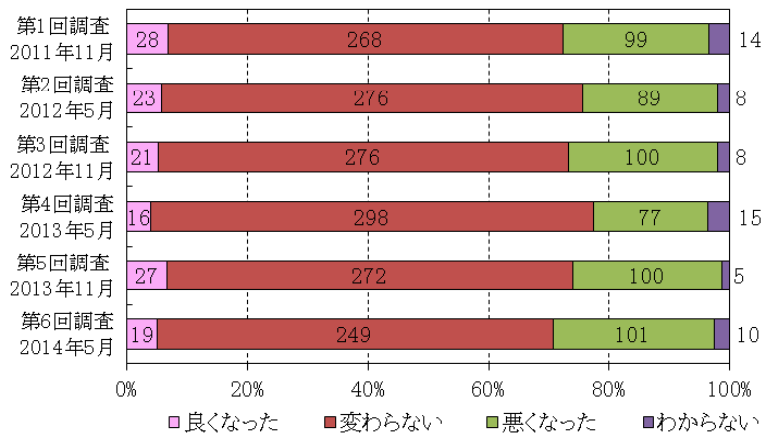
11. 世帯の暮らし向き

前回調査と比べて、暮らし向きは「良くなった」が減少し、「悪くなった」がやや増加した。暮らし向きDIは2期連続して下落した。

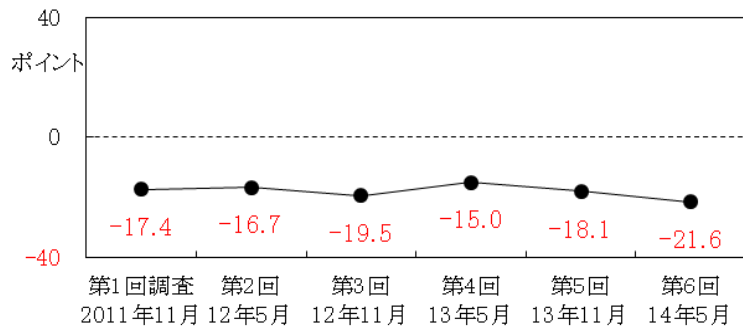
問11 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



問11 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)

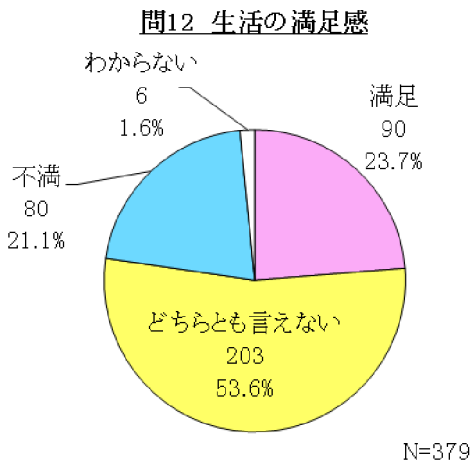


暮らし向きDI
「良くなった(%)」-「悪くなった(%)」

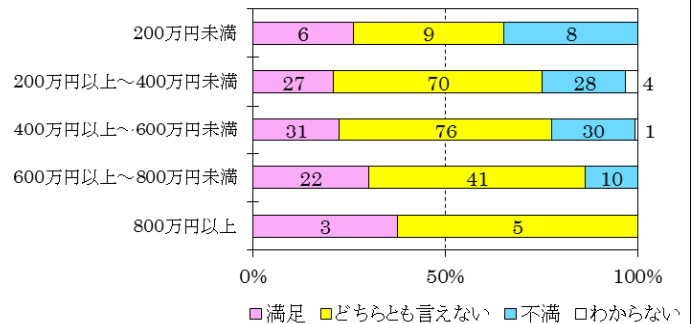


12. 生活の満足感

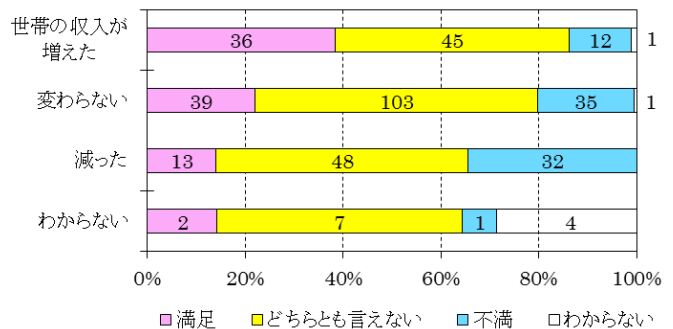
前回調査と比べ、「満足」が減少し、生活満足DIはやや下落した。年収別では、年収が高い層ほど「満足」の割合が多く、「不満」の割合が少ない。世帯収入の増減との関連でも、世帯収入が「増えた」と回答したグループで、生活に「満足」と回答した割合が多い。仕事の満足感との関連では、仕事に「満足」と回答したグループで、生活に「満足」と回答した割合が多い。収入の多寡あるいは増減と「生活の満足感」、また「仕事の満足感」と「生活の満足感」との関連性がみられた。



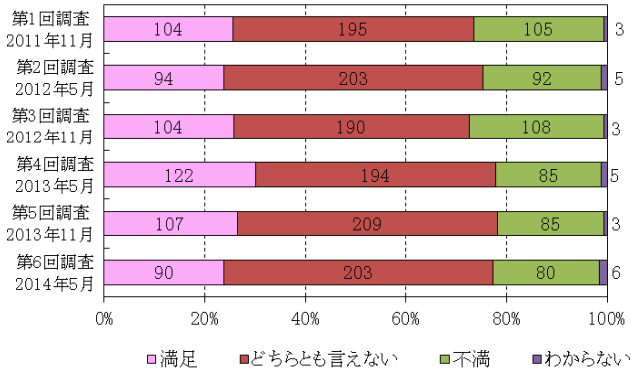
年収別にみた生活の満足感



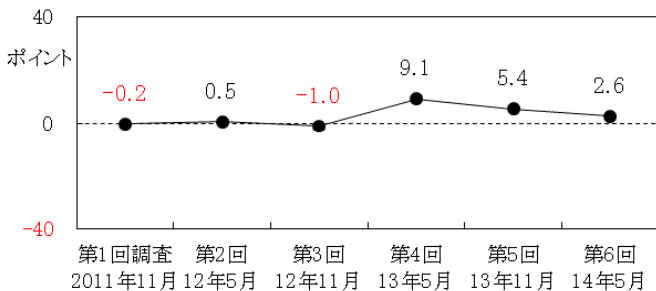
世帯収入別にみた生活の満足感



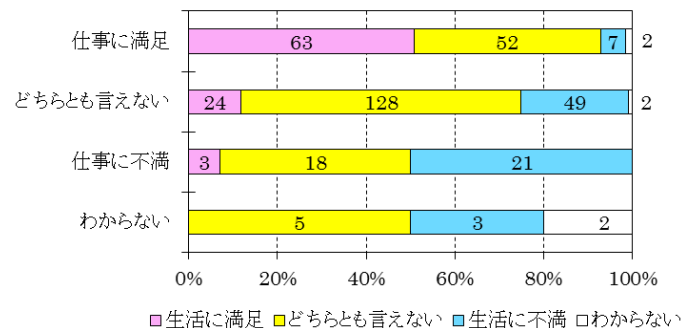
問12 生活の満足感



生活満足DI
「満足(%)」-「不満(%)」



仕事の満足感と生活の満足感



(第6回定期調査の結果は以上です。)